



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング 上場取引所 東
 コード番号 3965 URL <https://www2.cap-net.co.jp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 雅一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理部 部長 (氏名) 青木 浩一 (TEL) 06-4796-5666
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	4,869	7.6	53	—	51	—	21	—
2020年9月期第3四半期	4,525	△9.5	△79	—	△77	—	△78	—

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 9百万円(—%) 2020年9月期第3四半期 △98百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	3.78	—
2020年9月期第3四半期	△13.74	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益について、2021年9月期第3四半期連結累計期間は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、2020年9月期第3四半期連結累計期間は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	5,872	3,126	51.9
2020年9月期	5,679	3,208	55.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 3,049百万円 2020年9月期 3,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年9月期	—	6.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	5.00	11.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2020年9月期第2四半期の配当額には、創立30周年記念配当1円が含まれております。

3. 2021年9月期第2四半期の配当額には、東証一部市場変更記念配当1円が含まれております。

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,720	△2.3	121	△28.5	117	△31.5	61	△31.7	10.69

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	5,708,496株	2020年9月期	5,708,496株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	1,550株	2020年9月期	1,550株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	5,706,946株	2020年9月期3Q	5,706,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、変異株の拡大等による新型コロナウイルス感染症の再拡大や緊急事態宣言の再発出により先行き不透明な状況が続いております。企業の情報システム投資は、非接触遠隔化等の新型コロナウイルス対応ビジネスへの需要はあるものの、一部受託プロジェクトの延期や抑制が懸念されています。また、金融業界においては銀行や証券会社に比べ、対面販売のウエイトが大きい生命保険業界において最も深刻な影響を受けたと考えられます。

このような環境のなか、当社グループにおいては、生命保険会社向けの①ライフプランニングシステム、②生保設計書・申込書作成システム、③生保販売・引受・保全業務の全プロセスを、ペーパーレス化、省力化し、さらに今後のニューノーマルとなる非対面による遠隔コンサルティングシステムの開発提供を展開しております。そして、④米国で急速に浸透しつつある複数の投資目標の達成確率を予想するゴールベースプランニングプラットフォーム、⑤団塊の世代の経営者を主たる対象とした統合資産管理システム、事業承継・財産承継システムの構築・販売及び使用料課金を拡大しております。さらに、⑥当該クラウドシステムを活用した資産管理コンサルティング業務の獲得に努力いたしました。

さらに、大手金融グループより人生100年時代、大相続時代の到来を背景としたゴールベースプランニングシステム、相続・財産承継システムの大型開発案件の受託プロジェクトを継続するとともに、地域金融機関、金融商品仲介業者、FP、会計事務所向けにクラウドコンピューティングによる統合資産管理システムの使用料課金の拡大に努めました。

当社グループの主たる事業である受託開発事業は、金融機関のIT投資予算の制約や、生命保険会社の新商品販売時期の10月頃集中により、売上高、営業利益、経常利益とも、1月から3月（第2四半期）、7月から9月（第4四半期）に偏重する傾向がありますが、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,869,216千円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は53,984千円（前年同四半期は営業損失79,285千円）、経常利益は51,750千円（前年同四半期は経常損失77,748千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,571千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失78,387千円）となりました。

なお、当社グループはシステム開発事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(売上高)

生命保険会社向けの①ライフプランニングシステム、②生保設計書・申込書作成システム、③生保販売引受保全業務のペーパーレス化、省力化、効率化、自動化、非対面化を実現するフロントエンドシステムの横展開、④大手金融グループ向けゴールベースプランニングシステム、相続事業承継・財産承継システム等の受託プロジェクトの進捗の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,869,216千円（前年同四半期比7.6%増）となりました。

(営業利益)

今後の対面金融商品販売のニューノーマルとなる非対面遠隔コンサルティングシステム等の積極的な営業活動を行う一方で、受託ビジネスについては緩やかに回復が進み、営業利益は53,984千円（前年同四半期は営業損失79,285千円）となりました。

(経常利益)

営業外収益として、受取利息及び配当金を6,641千円計上しました。また、営業外費用として、支払利息を13,914千円計上しました。この結果、経常利益は51,750千円（前年同四半期は経常損失77,748千円）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

法人税等合計を32,743千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,571千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失78,387千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて193,289千円増加し、5,872,804千円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて26,522千円減少し、3,754,175千円となりました。これは主として現金及び預金が564,260千円増加した一方で、売掛金が589,507千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて219,811千円増加し、2,118,629千円となりました。これは主としてその他に含まれるソフトウェアが202,843千円増加したこと等によるものであります。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて275,262千円増加し、2,746,577千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて121,430千円増加し、1,829,012千円となりました。これは主としてその他に含まれる未払消費税等が88,844千円、前受金が34,099千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて153,832千円増加し、917,564千円となりました。これは主として長期借入金が157,008千円増加したこと等によるものであります。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて81,973千円減少し、3,126,227千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を21,571千円、剰余金の配当を91,311千円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があり、引続き注視してまいります。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,073	1,979,334
売掛金	1,989,885	1,400,377
仕掛品	261,343	304,041
その他	114,971	70,820
貸倒引当金	△576	△398
流動資産合計	3,780,697	3,754,175
固定資産		
有形固定資産	372,885	337,451
無形固定資産		
のれん	73,575	56,596
その他	590,640	868,217
無形固定資産合計	664,216	924,814
投資その他の資産	861,715	856,363
固定資産合計	1,898,817	2,118,629
資産合計	5,679,515	5,872,804
負債の部		
流動負債		
買掛金	296,646	299,389
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	516,801	555,538
未払法人税等	69,343	15,386
受注損失引当金	31,083	29,724
賞与引当金	15,378	8,918
その他	178,330	320,055
流動負債合計	1,707,582	1,829,012
固定負債		
長期借入金	438,993	596,001
役員退職慰労引当金	59,166	69,666
資産除去債務	154,448	152,207
その他	111,123	99,689
固定負債合計	763,732	917,564
負債合計	2,471,314	2,746,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	935,245	935,245
資本剰余金	816,311	816,311
利益剰余金	1,348,563	1,278,823
自己株式	△691	△691
株主資本合計	3,099,429	3,029,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,110	19,525
その他の包括利益累計額合計	31,110	19,525
新株予約権	77,660	77,012
純資産合計	3,208,200	3,126,227
負債純資産合計	5,679,515	5,872,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,525,589	4,869,216
売上原価	3,721,946	3,944,782
売上総利益	803,642	924,433
販売費及び一般管理費	882,927	870,448
営業利益又は営業損失(△)	△79,285	53,984
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,656	6,641
助成金収入	4,482	2,607
その他	2,947	2,431
営業外収益合計	14,085	11,680
営業外費用		
支払利息	12,549	13,914
その他	0	0
営業外費用合計	12,549	13,914
経常利益又は経常損失(△)	△77,748	51,750
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,563
特別利益合計	—	2,563
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,748	54,314
法人税、住民税及び事業税	16,677	37,602
法人税等調整額	△16,039	△4,859
法人税等合計	638	32,743
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,387	21,571
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,387	21,571

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△78,387	21,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,902	△11,585
その他の包括利益合計	△19,902	△11,585
四半期包括利益	△98,289	9,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,289	9,986
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定において、当連結会計年度中に概ね正常化すると仮定しておりましたが、現状の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、当該感染拡大に伴う影響が翌連結会計年度末までに徐々に正常化するとの仮定に変更し、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、当該変更により、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りについては、重要な影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。